

令和 6 年 1 2 月定例教育委員会議事録

開 閉 日 時	令和 6 年 1 2 月 2 3 日 午後 3 時 0 0 分開会 午後 4 時 2 0 分開会	
開 催 場 所	志木市役所 教育委員会議室	
委員の出席状況	出 席	柚木博教育長、岩澤千恵子教育長職務代理者、 上野幸子委員、飯田昌利委員、可知良之委員
	欠 席	なし
説明のため出席 した者の氏名・ 職名	今野教育政策部長、成田参事兼教育総務課長、佐野参事兼学校教育課長、 土崎参事兼生涯学習課長、坂口教育サポートセンター所長、植島学校教育 課指導主事、新井生涯学習課主任、石川生涯学習課主任	
会 議 書 記	石田教育総務課主事	
傍 聴 人	2 人	
会 議 内 容	議 題 第 5 9 号議案 市指定文化財の追加指定について	
	報告事項 （１）ベーシックサポート事業の実施報告について （２）志木市立中学校学校選択制度の令和 7 年度希望状況について （３）第 5 3 回志木市民文化祭、第 3 2 回志木市美術展覧会の実施 報告について （４）体力測定事業の実施報告について その他	

審議内容（発言者、発言の要旨）

○柚木教育長

令和6年12月定例教育委員会会議の開会を宣す。

傍聴希望者について、傍聴を許可した。

＊＊ 傍聴人 入場 ＊＊

議事録署名委員に岩澤教育長職務代理者を指名した。

会議書記に石田主事を指名した。

11月定例教育委員会議事録を各委員に諮り、承認された。

◎教育委員会報告

○今野教育政策部長

令和6年11月定例教育委員会後の教育委員会の主な動きを報告する。

- ・ 11月9日 志木第三小学校50周年記念式典
宿の囃子の伝承・150周年記念祝賀会
- ・ 11月12日 令和6年度志木市小中学校音楽会（宗岡第四小学校・宗岡中学校）
令和6年度納税表彰式
- ・ 11月15日 第2回埼玉県市町村教育委員会教育長研究協議会
- ・ 11月16日 小・中学校創造展（17日まで）
- ・ 11月17日 朝霞地区柔道大会
志木市健康まつり
柳瀬川図書館「図書館まつり」
図書館を使った調べる学習コンクール表彰式
志木市茶道連盟40周年記念茶会
- ・ 11月19日 朝霞地区教育委員会連合会視察研修
- ・ 11月20日 いじめ問題対策連絡協議会
- ・ 11月21日 令和6年度志木市人権研修会 現地研修会「福田村事件を訪ねて」
- ・ 11月22日 志木市国民健康保険書道コンクール表彰式
- ・ 11月26日 令和6年志木市議会12月定例会開会
- ・ 11月27日 ミドルリーダー研修会
- ・ 11月29日 令和6年志木市議会12月定例会・総括質疑
- ・ 12月1日 非行・薬物乱用防止キャンペーン
- ・ 12月4日 定例校長会
日本のおどり文化協会しき 表敬訪問
- ・ 12月5日 令和6年志木市議会12月定例会・常任委員会
- ・ 12月10日 令和6年志木市議会12月定例会・一般質問（12日まで）

- ・ 12月13日 図書館を使った調べる学習コンクール特別賞表彰式
(志木第二小学校・宗岡中学校)
- ・ 12月16日 令和6年度第2回志木市複数・少人数指導体制推進事業検証委員会
- ・ 12月17日 令和6年志木市議会12月定例会・閉会
志木市立学校PTA連合会60周年記念企画・市内小中学校図書館への図書
の寄贈 表敬訪問
- ・ 12月18日 図書館を使った調べる学習コンクール特別賞表彰式
(志木第四小学校・宗岡小学校)
- ・ 12月20日 郷土資料館 冬のミニ展示「志木に所縁のある人たち」(令和7年2月2日
まで)
- ・ 12月22日 志木市民武道大会(躰道大会)
ニコニコキッズスポーツ教室
- ・ 12月23日 志木市総合教育会議

令和6年志木市議会12月定例会について
教育委員会への一般質問の答弁内容について説明

◎第59号議案 市指定文化財の追加指定について

○柚木教育長

第59号議案 市指定文化財の追加指定について、説明を求める。

○土崎参事兼生涯学習課長

本議案は、志木市指定文化財に追加指定したいため、議決を求めるものである。名称は「富士講用具及び関係資料」で、今回20点を追加し、既存指定のものを含めると総数は254点となる。文化財の種別は民俗文化財、種類は有形民俗文化財である。この他詳細について、担当から説明する。

○石川生涯学習課主任

富士講は江戸時代に関東や東海地方で広まった富士信仰の集団であり、かつては多くの方が、修行着姿で金剛杖を持って鈴を振り、富士山に登拝した。そのなかで富士山に登ることができなかった女性や子ども、高齢の人たちが富士山に思いを馳せる場所として、各地に富士山を模した小さな塚が築かれた。志木地域には、宗岡地区に丸藤講、志木地区に丸吉講と呼ばれる2つの大きな富士信仰の集団があり、明治5年に築造された本町の田子山富士塚は、令和2年に「志木の田子山富士塚」という名前で国の重要有形民俗文化財に指定されている。令和4年には市内の各家に所蔵されていた富士信仰に関する資料234点を、「富士講用具及び関係資料」として市の指定文化財に指定した。今回、「志木の田子山富士塚」の発起人宅に旧蔵されていた資料が令和6年4月に寄贈されたが、大マネキという超大型の旗を中心とした資料には、すでに指定されているマネキの原図や同様のマネキも含まれていることから、現在指定されている「富士講用具及び関係資料」と同様に取り扱うべきと考え、追加指定という形としたい。また、今回の指定については、11月13日に開催された志木市文化財

保護審議会において同意いただいている。

○飯田委員

資料を見るに、非常に綺麗な状態で残っているように感じるが、現在はどうか。

○石川生涯学習課主任

資料には、今年４月に寄贈された際に撮影した写真を使用しているが、今回寄贈くださった方が代々大切に保管しており、資料同様に綺麗な状態である。木の箱に保管されていたようで、装飾品等の付属品も錆がなく、状態の良いものであると思われる。

○岩澤教育長職務代理者

これからこの資料はどこに保管されるのか。

○石川生涯学習課主任

郷土資料館内での保管を予定しているが、郷土資料館の建て替え等もあるので、状態良く保管するため、今後の保管についても計画していきたい。

○柚木教育長

他に質問はあるか。

○全委員

なし。

○柚木教育長

第５９号議案 市指定文化財の追加指定については、原案のとおりでよろしいか。

○全委員

異議なし。

○柚木教育長

第５９号議案 市指定文化財の追加指定については、原案のとおり可決された。

◎報告事項（１）ベーシックサポート事業の実施報告について

○佐野参事兼学校教育課長

毎年実施しているベーシックサポート事業について、今年度も夏季と秋季に実施したので、詳細を担当から説明する。

○植島学校教育課指導主事

市内中学校の生徒に向け、夏季は中学１～３年生、秋季は中学３年生を対象として実施した。支援員数や受講生数等の詳細については資料のとおりであるが、夏季は各中学校を

会場に3日間実施し、令和5年度と比べると受講生数が倍以上となった。部活動前や面談前に登校していた生徒が多く参加したこと、通い慣れている場所であったことが人数増加の要因になったと考えている。秋季は学校からの要望もあり、会場を市役所内に移して実施したところ、受講者数が大きく減少してしまった。次年度からは、学校の負担を考慮し、夏季も学校外での開催を検討しているが、今回の秋季同様に人数が減少してしまう可能性があることが課題である。支援員については、今回も慶應志木高校や県立志木高校から多くの応募があり、抽選にて決定した。現在は高校生のみをお願いしているが、次年度は高校生だけでなく、教育実習生や近隣大学の学生等、支援員の拡充も検討している。

○上野委員

令和5年度に比べ、支援員の数が少なくなったのはなぜか。

○植島学校教育課指導主事

秋季については、昨年度は中学校4校で実施していたため、1カ所で開催した今回よりも人数が多かった。夏季は、今年度は4校中2校で体調不良者が出た関係で、人数が少なくなっている。

◎報告事項（2）志木市立中学校学校選択制度の令和7年度希望状況について

○佐野参事兼学校教育課長

令和7年度入学予定者の志木市立中学校学校選択制度の希望状況については、基本学区以外の申請は61名となり、各校定員はほぼ超えないという見込みとなったため、全校抽選なしとした。内訳等詳細については資料のとおりである。

○飯田委員

人数の内訳について、例年と比べて大きな変化はあったか。

○佐野参事兼学校教育課長

ほとんどの学校でほぼ動きはない状況だが、宗岡第四小学校では、令和4年度と比べると学区変更の希望数が大幅に増えている状況である。

○上野委員

宗岡第四小学校の増加の理由等あれば教えてほしい。

○佐野参事兼学校教育課長

希望申請ということもあり、詳細の聞き取りはしておらず推測となるが、志木地区の中学校の方が、家から距離が近いと考えている家庭が多い印象である。

◎報告事項（3）第53回志木市民文化祭、第32回志木市美術展覧会の実施報告について

○土崎参事兼生涯学習課長

第５３回志木市民文化祭及び第３２回志木市美術展覧会について、１１月２日から４日の３日間で開催したので報告する。

まず志木市民文化祭は、舞台で発表する芸能発表や、文化財や郷土資料に関する展示、生け花やお茶席を実施する展示発表、いろは子ども文化賞の作品展示を実施した。昨年度は発表と展示を全て総合福祉センターで実施したところ、ホールで行う芸能発表は多くの方に来場いただいた一方で、別の階で実施した展示発表や作品展示は来場者数が少なかった。今年度はその課題を踏まえ、芸能発表は総合福祉センターホール、展示発表と作品展示は美術展覧会とともに市庁舎の３階で実施した。各来場者数については資料のとおりで、初日は悪天候の影響もあり昨年と比べると人数が減少しているが、２日目以降で多くの方に来場いただいた。また、文化体験道場で学んだ子どもたちの発表の機会として、昨年度から文化祭に参加いただいております、今年も芸能発表では民謡・邦舞踊・箏曲、展示発表では生け花作品の展示を行った。

次に志木市美術展覧会は、市庁舎にて６部門の展示発表を行った。出品点数は１２３点で、初日の悪天候があったなか、合計で２，９２３人という大勢の方にお越しいただいた。また、昨年度に引き続き高校生の作品も出品され、参加した生徒からは、「市役所に展示する機会や経験はなかなかないので、良い機会になった」、「普段は同年代の作品を鑑賞しているので、違う年代の方々の作品はとても参考になった」等の声があり、大多数の生徒から次回も出品したいとの回答をいただいた。志木市美術展覧会は、市民会館がなくなった後も市民の皆様活動を応援し、人々のつながりを持っていただきたい、という思いから進めており、今年度も成功に終わったと考えている。今年度の課題について、市民の声を聞きながら、来年度につなげていきたい。

◎報告事項（４）体力測定事業の実施報告について

○土崎参事兼生涯学習課長

本市ではスポーツ推進委員を通して、市民に対し、スポーツの実技や指導などを行っている。例年の活動として、志木市健康まつりや総合福祉センターまつりでの体力測定があるが、今年度の志木市健康まつりにおける実施状況と、町内会の方々の活動報告について、担当から説明する。

○新井生涯学習課主任

まず、１１月１７日に開催された第４８回志木市健康まつりでは、さまざまなブースがあるうちの１つのブースとして体力測定を実施した。参加者は７１名で、５歳から８６歳までと幅広い世代の方に参加いただいた。当日は、志木市スポーツ推進委員の指導により新体力テスト５種目を実施し、参加者には文部科学省が作成している年齢別の全国平均値を目指して取り組んでいただいた。

次に、１２月１５日に実施した久保町内会への志木市スポーツ推進委員派遣事業では、高齢者にスポーツをする機会を作ることを目的に、町内会への派遣事業として初めて実現した。参加者は１４名で、体力測定だけでなく、ミニモルックというニュースポーツを実施することで、楽しみながら体を動かす体験をしていただいた。

○可知委員

健康まっりの参加者の年齢は5歳から86歳までということだが、どの年齢層が多かったのか。

○新井生涯学習課主任

正確な集計は行っていないが、60代以上が約半数であった。そのほかは10代以下が約2割で、20～30代の参加者はほぼいなかった。

○飯田委員

今回は久保町内会での開催だが、他の町内会から要望があった場合には同様に開催できるのか。

○新井生涯学習課主任

スポーツ推進委員の予定の兼ね合いもあるが、要望があれば、ぜひ協力させていただきたい。

◎その他

小・中学校2学期の様子等について

○佐野参事兼学校教育課長

2学期は、学級閉鎖等を除くと82日の授業日数があり、どの学校も大きな事故等の報告なく無事に2学期を終える予定である。2学期は学校行事が多く、校外学習や運動会・体育祭、市内音楽祭、創造展等を実施した。また、宗岡小学校では150周年、志木第三小学校では50周年の記念式典が開催された。学校保健では12月に入りインフルエンザの流行とともに、学級閉鎖がいくつか見られている。学校給食では9月に志木中学校にて、ホテルのシェフに献立を考えていただくシェフ給食を実施した。また、残念ながら11月にアレルギーの誤食事故があった。大事には至らなかったが、命に関わる問題であるため、学校給食運営委員会にて今後の対策を検討し、学校にフィードバックを行った。学校給食における一番大きな取組としては、米の高騰に伴う給食費の値上げについてで、学校給食運営委員会で検討した結果、1月から値上げを実施する計画を立てている。つづいて事務局の動きとして、県の教育委員会から指導主事を招き、教職員への指導を実施する学校訪問を6校実施した。県の教育委員会からは、どの学校もICT機器の利活用が着々と進んでおり、特に小学校低学年でもタブレット端末の活用について工夫しているという賞賛の言葉をいただいた。宿題での活用等で課題が見られるため、これからも工夫して取り組んでいきたい。次に、本市では管理職候補者の育成が課題となっているが、「ミドルリーダー研修会」という管理職候補者に向けた研修会を2回実施し、1月にも講師をお招きして実施する予定である。最後に、今年度から導入したスクールロイヤーについては、8月から12月までの間に計17回の活用があったところである。

○可知委員

学校訪問について、志木は以前からICTに力を入れているため、評価されたことを素晴らし

く思う。教員も一人一台タブレット端末を所持していると思うので、子どもたちの学習データを残し蓄積していくこと、それを元に評価にも使用していくこと等を進めていけるとさらに良くなると感じた。また、ミドルリーダー研修会もとても良い機会だと思っており、これからの学校を支え、指導で子どもたちを支えられる力をつけるためにも、今後もこの研修会を活発化させていただきたい。

○上野委員

スクールロイヤーの活用件数は17件ということだが、具体的にどのような案件があったのか教えてほしい。

○佐野参事兼学校教育課長

17件のうち、数件は教職員研修でお越しいただき、保護者対応やいじめの初期対応等、学校としての進め方について、法的な視野から支援いただいた。

令和6年度 秋の非行・薬物乱用防止キャンペーンの実施報告について

○土崎参事兼生涯学習課長

志木市青少年育成市民会議では、毎年2回、非行や薬物乱用防止に関する活動を実施している。今回、12月1日の市民まつりに併せて活動を実施し、旧村山快哉堂や親水公園を中心として啓発物資であるポケットティッシュの配布を行った。志木市青少年育成市民会議は、市民の各種関係団体及び賛同する市民で組織され、一丸となって青少年の非行・薬物乱用防止の活動を推進しており、今回は15団体と個人会員2名の計38名にご参加いただいた。また、今回も市内4中学校と県立志木高等学校の生徒に、配布物のイラスト制作にご協力いただいたが、子どもたちにイラストを描いてもらうこと自体が非行・薬物乱用防止を考えるきっかけになればと考えている。今後も工夫を凝らして活動を実施していきたい。

就学支援委員会の答申について

○坂口教育サポートセンター所長

令和6年度第3回就学支援委員会における答申の概要について報告する。今年度は11月7日・8日の2日間に渡り、慎重審議をしていただき、結果は資料のとおりとなった。就学に関しては、幼稚園、保育園等の年長児で来年度小学校に入学予定のお子さんのうち、教育サポートセンターと面談を行っている保護者のお子さん対象となっており、通常学級が適しているもの、特別支援学級が適しているもの、特別支援学校が適しているものについて審議を行った。つづいて、転籍・転学については、就学支援委員会より根拠を強く求められたため、根拠が不足していた場合には、学校からの追加資料提出後、臨時の就学支援委員会にて検討を行った。また、教育サポートセンターで就学相談をしていない就学予定児で、幼稚園・保育園から情報提供があったり、就学時健康診断の時に行動観察で気になる様子があったりするお子さんについては情報提供を行い、人数は資料のとおりとなっている。

○可知委員

資料にある人数は就学支援委員会として審議をした結果ということで、実際に特別支援学

級に転学等をする人数とは異なるという認識でよろしいか。

○坂口教育サポートセンター所長

あくまで答申であり、現在保護者と学校、センターで合意形成を図っているところであるが、できる限り答申の形に添うように進めていけたらと考えている。

○飯田委員

転籍・転学について、就学支援委員会より根拠を強く求められたということだが、根拠とは具体的にどのようなものを指しているのか。

○坂口教育サポートセンター所長

学校から提出される子どもたちの行動に関する細やかな書類や知能検査の数値、障害者手帳の有無等が根拠になる。また、在学している学校の支援員や通っていた幼稚園、保育園の先生からの聞き取りの結果も加味している。

事務局より、次回定例教育委員会の日程を確認する。

○柚木教育長

他になれば、これをもって令和6年12月定例教育委員会を閉会する。

教育長

会議録署名委員

(※署名は原本)